

栄養やまぐち

(公社) 山口県栄養士会

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号

山口県総合保健会館4F

TEL : 083-932-8015 FAX : 083-902-7156

ホームページアドレス : <http://www.yama-ei.com>

—— 平成24年度 通常総会終わる ——



去る6月9日(土) 山口県総合保健会館において、平成24年度通常総会が開催されました。

また、本年度は永年模範会員として22名の方が表彰を受けられました。

尚、平成24年度の総会議事は以下のとおりです。

・開催場所 山口市吉敷下東3丁目1番1号

山口県総合保健会館

・開催日 平成24年6月9日(土)

・総会員数 804人

・出席会員数 531人

(内訳) 本人出席 116人

委任状出席者 415人

・議長選出 満場一致をもって

議長 北浦支部 杉山 洋子

が選出されました。

・書記・議事録署名人選出 満場一致をもって

書記 周南支部 松尾 咲子

議事録署名人 山口支部 中村 良子

山口支部 弘津 公子

が選出されました。

・定足数の件

議長挨拶の後、第19条、第20条の規定に基づき定足数を満たしたので、総会成立宣言が行われました。その後、議案の審議に入りました。

・第1号議案 (社)山口県栄養士会 平成23年度事業報告及び決算報告・監査報告

・第2号議案 (公社)山口県栄養士会 平成24年度事業計画及び予算

・第3号議案 役員選任の件

・第4号議案 監事選任の件

・第5号議案 (社)日本栄養士会代議員選任の件

第3号議案・第4号議案は決議され、その他の議案はすべて承認された。

活発な意見が交わされた平成24年度通常総会は、無事閉会しました。



平成24年度 永年模範会員表彰

おめでとうございます。平成24年度永年模範会員として、22名の方々が表彰されました。

吉村京子	青木直美	野川美世	石田知子	濱田真知子
渡辺知子	横山美恵子	田中由美子	杉村和美	岡野倫子
則常弘子	本吉寿子	吉村美知子	岩本千香子	河村典子
清水小百合	金尾行子	末安妙子	丸山澄江	川上澄子
前田和美	三好由子			

喜びの声

「あっという間の20年」



医療法人社団成蹊会 岡田病院 前田 和美

今年に入ってすぐのことです。支部長さんより、今年私が永年模範会員表彰を頂けるというお知らせを頂きました。栄養士会に入会して、20年も経っていたことに気付き驚いてしまいました。支部活動で、広報誌に表彰された方々を紹介させて頂いていたのですが、まさか、私にその時がやってこようとは・・・

20年と思うと長い様な気がするのですが、私にとってはあっという間の出来事でした。入会して暫くは研修会に参加するくらいで、会の活動に携わることはほとんどありませんでした。その後、支部活動に少しずつ参加する様になり、多くの方々と活動をご一緒させて頂きました。支部活動は休

日に行うことが多いのですが、皆さん積極的に参加され、活動が盛り上がる様にと協力されていました。私も頑張ってお手伝いをしなければと思ったことを懐かしく思い出すことが出来ました。

今期に入り、医療部会の専門委員をさせて頂くこととなりました。初めての事ですので緊張ばかりで、何もできませんが2年間できる限り頑張りたいと思っています。

少しずつですが、活動に参加させて頂く様になり、多くの方々の熱い想いが結集して成り立っていることをひしひしと感じております。私も微力ではありますが、努力して行きたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

喜びの声

「栄養士20年を迎えて」



吉南病院 吉村 美知子

この度、山口県栄養士会から永年模範会員の表彰をしていただきました。

私自身としては、ただただ栄養士会の仕事を長く勤め続けたという感覚で、表彰されるとは思いもかけずにいたので、驚いたと同時にずっと栄養士を続けてきた事を労っていただき、とても嬉しく思いました。

私が栄養士を目指したきっかけは、学校の給食でした。給食がとても好きで、給食を作る仕事がしたいと小学生の時に考えてたのを覚えています。

学校の、ではありませんが縁があって給食に携わる仕事に就くことができました。

子供のころの夢が叶い、ずっと続けられ、大変ありがたい事だと思います。

私が長く栄養士として続けられたのも、周りの

方々の支えがあってこそだと思います。仕事を始めたばかりの頃は、失敗も多く上司や先輩の栄養士さんにどれだけ迷惑をかけたか知れません。

調理師さんにしても、その時は献立をたてる事だけに必死だったので、ややこしいメニューを考えたりして、だいぶん困らせていたと思います。

そんな頼りない私を、時に温かく、時に厳しく見守ってもらえたおかげで、今日まで頑張ってきたのだと思います。

今もあの頃とさして変わらず周りに迷惑をかける事が多く、自分ではあんまり成長できたとは思えません。この表彰を受けた事を励みにがんばって栄養士という仕事を続けていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



公益社団法人認定記念講演を拝聴して

山口大学医学部附属病院栄養治療部 藤井 愛子

平成24年6月9日山口県総合保健会館において、山口県栄養士会通常総会がおこなわれました。今年度は山口県栄養士会が公益法人に認定された元年であり、午後からは記念講演として「夢をみんなの力で実現しましょう」と題し、日本栄養士会会長、中村丁次先生にお話をいただきました。ご講演内容は栄養学の事始めから専門職の公益性、チーム医療についてなど多岐にわたり、仕事に対する意識が高まるものでした。

ご講演は、先生が大好きだと言われた1枚の写真から始まりました。それは栄養学の父といわれる佐伯矩（ただす）博士が設立された「栄養学校」の写真であり、第1回卒業生（大正15年）は15名だったそうです。戦後までの栄養士は、深刻な食糧不足に苦しむ国民の栄養状態を改善することが役割でした。現在、日本栄養士会会員は約6万人。医療、福祉、学校教育等へと広がった私たち管理栄養士・栄養士の活動の場は、時代に合わせて「今の国民にどのような栄養管理・教育が必要なのか」を考え、努力してこられた先輩方が用意して下さったのだと感じました。

先生は東日本大震災での1つの事例を紹介してくださいました。福島第1原発の30km圏内にある病院の管理栄養士の訴えです。市民や民間企業が避難し、食糧、燃料の供給が途絶える中、医療、福祉の専門職には患者を残して去る選択肢はありませんでした。限られた食糧しか残されておらず、外界とのコミュニケーションが断たれた状態での混乱状況をメディアに訴えましたが、なんと1番に採り上げてくれたのはアメリカのABC放送だったそうです。

栄養士会が公益法人になったことで、これから私たちは栄養の専門職として自らのスキルアップだけでなく、活動が「公益」になっているかを考えなければいけません。専門職の条件とは「専門的能力：科学的技術を生活に利用する能力（エビデンス）」と「規範順守の適正：法令と倫理の順守（コンプライアンス）」を持つことだそうです。ご講演の中では「栄養士の倫理の原則」は

- 1 自律
- 2 無害（害を与えない）

- 3 善行
- 4 守秘
- 5 公平な分配
- 6 真実の言動（正直、誠実）

で、専門職が公益業務を行うときは、自らを律することができ、科学的根拠をもって、すべての人に平等に、真実を伝える仕事をしなければいけないということだそうです。改めて自分が己を律し、常に患者さんのためを思って仕事ができているか考えさせられました。

年々医療制度が改正される中で、今年度の診療報酬改定のキーワードは栄養管理とチーム医療だそうです。栄養管理実施加算の包括化により、全ての入院患者に栄養スクリーニングが行われ、栄養管理の必要性が認められれば、多職種共同で栄養管理計画を作成、チームで行う栄養ケアには、栄養サポートチーム加算が拡大されています。すべての患者に、適正な栄養管理が行われるための診療報酬改定になっているとのこと説明でした。

チーム医療を行うにあたり、優れたチームとは

- 1 お互いが異なる意見を述べることで奨励される
- 2 各自の関心事や創意工夫を率直に表明できる
- 3 個々の専門家やチームの限界を構成員が認識している
- 4 一人一人の独自性が認められる
- 5 外部の意見も考慮される
- 6 物事をチームに都合よく解釈しない
- 7 チームの決定がもたらす倫理的・道徳的帰結が考慮されている

だそうです。

（「チーム医療に必要な人間栄養学の取り組み」第一出版）なかなか難しい内容ですが、多職種で互いに優れたチームを目指し、医療の質が高まるよう努力を続けていきたいと思えます。また、これからは職域を超えて、管理栄養士・栄養士間で連携していくことも重要な時代になってきたと感じました。最後になりましたが、中村丁次先生は今年度をもって日本栄養士会会長を退任されます。今後も管理栄養士・栄養士活動の発展にご尽力いただくと確信しています。先生のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

公益社団法人移行後の 会の運営と活動について



会長 中村 良子

平成24・25年度の役員改選で、引き続き会長を受け継ぎ、公益法人に移行した会の運営について、今まで以上に気を引き締めなければならない、責任を感じております。

さて、平成20年12月、新たな公益法人制度が施行されことに伴い、一昨年から準備を進めて参りましたが、役員・会員の御協力のもと、定款等に基づいた組織の編成も順調に推移し、3月26日公益認定を受け、平成24年4月1日に登記を終了いたしました。各都道府県栄養士会においても、同じように公益法人に移行し、6月1日現在31都府県が登記を終了している現状にあります。

このように同じ職種の団体が公益認定されたことは大変喜ばしく、同じ目的で活動をしている仲間が多いということは、今後の運営や活動の励みになります。

* 会の運営体制と事業の推進

移行後の会は、会の目的である「すべての人びとの“自己実現をめざし健やかによりよく生きる”とのニーズに応えるため、管理栄養士・栄養士としての職業倫理に則り、科学的根拠に裏付けられかつ高度な技術をもって行う食と栄養の支援をとおして、公衆衛生の向上に寄与すること」を、どのような事業をとおして実践していくのか、また、一人ひとりの会員がどのような意識をもって人びとに関わっていくのが、重要になると考えます。

そこで、今後の活動や運営は、公益認定基準に適合する事業の実施が必須であるため、会の運営組織を次のようにしました。

総務部、本会事業部、職域事業部、地域事業部、学術部、組織・広報部を置き、すべての事業部（総務部を除く）が、公益事業を実施すること。

また、今年度からの新組織として、職域事業部・地域事業部を設置し、職域別・地域別に

行う事業も会の事業と位置づけ、会員が一体となって県内各地区・各職域で公益事業を展開することとなります。このことは、事業の推進においては、企画や運営に携わる会員のみならず、一人ひとりの会員の事業への参加意欲の有無が事業の成否にかかわるため、多くの会員が食と栄養の専門職としての自覚をもって活動されるようお願いします。

* 栄養ケアステーションをとおしてみえる県民支援活動

本会事業部で推進している栄養ケアステーションに、他機関・他団体・県民から、様々な支援の依頼が来ています。

昨年のおいでませ山口国体で活動されたスポーツ栄養分野の栄養士業務依頼、特定保健指導の個別・集団指導、クリニックで説明された糖尿病や胃腸病等個人への食事内容の具体的支援、食事の栄養価算出など依頼数が増えています。これは、栄養士会の活動内容が県民や関係機関、関係団体等に周知されてきた結果だと思われます。県下各地で職域・地域専門部会の地道な活動が継続することによって、栄養士会が県民のより身近な健康の支援団体となり、活動目的の公衆衛生の向上に寄与できることを確信しております。

* 今後に向けて

今、栄養士・管理栄養士は、職域や地域で何をなすべきかとともに、何が出来るかを問われております。

公益社団法人への移行を機に、人に役立つ、地域に役立つ専門職種の会として、様々なことに取り組んでいきたいと思っております。

会員のみなさまの大きな力と御協力で、公益社団法人として「山口県栄養士会」が、力強い堅実な団体に発展することを切に願っております。

新役員紹介

副会長

この度初めて山口県栄養士会の副会長として活動させていただく事になりました。

今まで一会員としての立場でしたので、いきなりの大役に戸惑うばかりです。むしろ会員の皆様や役員の方々に御迷惑をお掛けする事にならないかと心配しております。現状ではやってみないとわからないことばかりですが、公益法人に移行した栄養士会で尽力したいと考えております。医療の方では少しだけ仕事をさせてい



福田 裕子
(下関厚生病院)

ただきましたが、これからは全体が見え、会員に少しでも役立つことができると考えております。これからは皆さまと一緒に考え、学び、汗を流せば2年後には将来がしっかり見える私に成長できると思いますのでよろしくお願い致します。

副会長 総務部長

このたび、新しく歩み始めた会の副会長及び総務部長に就任いたしました。定款第3条に書かれている目的のために、業務執行理事の一人として大きな責任を感じています。

総務部は、会長・副会長(2名)・事務局(1名)の4名で構成されます。所掌業務は定款施行細則別表1に記載されていますように、会の総合的な企画及び調整、総会・業務執行理事会・理事会に関する事、所有財産、予算・財務、会員簿、渉外に関する事などの内容になって



中谷 昌子
(特別養護老人ホーム サンライフ山陽)

います。

総務という業務は不慣れで、会員の皆さまにご心配をおかけすることがあると思います。しかし、皆さまのお知恵と力をいただきながら、公益社団法人として、公衆衛生の向上に寄与するために、運営の一旦を担っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

事業部長

公益法人化移行の過程で、「栄養士としての職業倫理」や「資格の持つ社会的使命」とは何かを考える機会をもらいました。

まずは、これまでの受身的な発想から「何が必要なのか、栄養士として何ができるか」の視点に立ち、小さな変化でもいいので、出来ることから変えていきたいと思ひます。(スモールチェンジを大切にしましょう!)

本会事業部では日本栄養士会委託事業の食生活と植物油栄養に関する講習会(10月27日於萩



吉田 弘子
(萩健康福祉センター)

市)とインスタントラーメン「健康と栄養」セミナー(11月24日於山口市)の2事業を県民への食と栄養に関する普及啓発の場とし、一般公開講座として開催します。多数の県民のみなさまの参加をお待ちしています。

また、災害時における栄養・食支援についても栄養士会として何ができるか、検討を進めていく予定です。皆様のご協力をお願いします。

新役員紹介

職域事業部長

公益社団法人移行により各職域専門部長をとりまとめる職域事業部長を務めることになりました。今まで医療専門部会の役員を長くしてきましたので、病院以外のごことが全く分かりません。しかし、理事の皆様と力を合わせ、少しでも全体が見える様に努力していきたくと考えています。また、病院ではチーム医療が表舞台に出てきましたが、管理栄養士・栄養士は地域連携や職域連携を進める時代になって来ました。その



有富 早苗
(山口大学医学部附属病院)

ために、職域事業部は会員が食と栄養の専門職としてその責務を果たせるよう、研修の企画・運営を行って行きたいと考えています。

多くの会員の皆さまが、栄養士会に入って良かったと思っただけの活動を職域専門部会長の皆様と共働き、活動していきたく思いますので、ご協力をお願いします。

地域事業部長

この度、公益社団法人山口県栄養士会の業務執行理事（地域事業部長）を務めることになりました。平成24年度より公益社団法人として新たな船出をしている山口県栄養士会ですが、私自身は大役に重責を感じつつもまだ手探りの状態で、戸惑うばかりの毎日です。

地域事業部長とは、県内の全地域の事業内容が公益活動であるかを調整することが主な役割となります。私はこれまで北浦地域でさまざまな活動をしてきましたが、今回地域事業部長を務めさせていただくことで、他の地域の活動に



小崎 充子
(長門総合病院)

ついても知ることができるいい機会だと思っています。各地域とも特性を活かした内容で活動を遂行してきたと思いますが、今後は地域を越えて、山口県栄養士会が地域住民の方々にとって魅力ある事業を運営できるよう努めていきたくと思います。一人でも多くの方と「食」を通じた交流をしたいと考えていますので、興味のある方は是非ご参加ください。

学術事業部長

学術事業部は、理事4人で構成しています。公益社団法人となった今年度から1人増えました。これは、「会員の知的欲求や社会が栄養士に求めることに、確実に応えていかなければ行けない！」という会としての決意を表しているもので、責任も重く感じます。

当部の主な事業は、「生涯学習研修会」と「栄養士研究発表会」です。

年5回の「生涯学習研修会」では、会員の皆さんが幅広い視点で活動できるよう、また、新たな知見を活動に生かしてもらえよう、理事とは別に各職域から出ていただいている運営委員と共に進めています。



田中 玲子
(山口県立総合医療センター)

年1回の「栄養士研究発表会」は、今年度、半日から1日に拡大強化することになりました。自分の活動や、そこから見いだしたものを仲間や社会に知ってもらおうことが、自分自身のやりがいや成長につながると信じています。発表の場が広がったこの機会に、ぜひ発表をしてみませんか？

学術と聞くとやや小難しく感じますが、身近で役に立つんだと思ってもらえよう事業部を目指していきます。皆さん、どうぞ参加してください！！

新役員紹介

組織・広報部長

今年度より公益社団法人となり、新たな一歩を踏み出しました。移行に伴い、名称の変更、役員体制の見直しが行われ、組織と広報が一つの部となり、4名が組織・広報部の役員を拝命することになりました。1名の方は前回から広報を行われた方で、もう1名の方はホームページを担当なされた方と新役員の私にとって心強い巡り合わせです。

当部は、栄養やまぐちとホームページを通しての情報の発信と、組織の強化をはかるための



山下 眞由美
(老人保健施設 好日苑)

会員増対策が具体的な活動となりますが、まだまだ手探り状態です。公益化にともない、会員外の方々にも情報を発信し、参加していただくことになるので、今まで以上に広報活動が重要になります。早く軌道に乗れるように努力していますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様からの情報・意見・要望等をお待ちいたしています。

研修会案内

食生活と植物油栄養に関する講習会

日時：平成24年10月27日(土) 13:00～16:00

場所：サンライフ萩

内容：専門講義

お茶の水女子大学院 人間文化創成科学研究所
教授 藤原 葉子 先生

一般講義

一般社団法人 日本植物油協会

対象：栄養士業務に携わっている者、
健康づくり・栄養改善に関心のある者

募集人数：120名

インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー

日時：平成24年11月24日(土) 10:30～14:30

場所：山口県総合保健会館 2階 第1研修室

内容：調理実習

講演会 森野 熊八 先生

対象：一般

募集人数：調理実習 20名程度

講演会 100名

*いずれも申込み先は (公社) 山口県栄養士会事務局
〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1
TEL 083-932-8015
FAX 083-902-7156

お知らせ

*栄養ケア・ステーション会員登録の募集

講演・健康相談・スポーツ栄養指導・栄養価算定などの依頼があります。栄養ケア・ステーション会員登録をして、県民の健康・栄養支援をお願いします。

*栄養士サポート事業で相談窓口を設置

仕事の悩みや疑問、人間関係等で悩みがある方の相談窓口です。(非会員の方もOK!)
ご気軽にご相談ください!!

連絡先 毎週木曜日 13:00～15:00 (公社)山口県栄養士会 事務局 TEL 083-932-8015

*研修等の案内はホームページで!!

パスワードなしで開けるよう、ホームページを改装しました。
『新着情報』『研修・事業の予定』に、各専門事業部会開催の研修会や関連事業を掲載しています。
どなたでも研修会へ参加できますので、ぜひチェックしてみてください。

*「食と栄養」相談を行います

ご相談のある方は 毎週木曜日 13:00～15:00 (公社)山口県栄養士会 事務局 TEL 083-932-8015へ



みんなにやさしい、おいしい。



たんぱく質調整食品・カロリー調整食品 介護食・減塩食 等
さまざまな食品を取り扱っております。

病院・施設等で使用されている食品をご家庭でも
お使い頂けるよう通信販売も行っているため、
栄養指導等でもお使い頂けます。



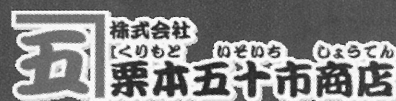
カタログ・資料請求
お問い合わせは...

山口営業所 : 〒754-0894 山口県山口市佐山747-12 TEL. 083-988-2680

ホームページ : <http://isoiti.co.jp>

オンラインショップ : <http://isoiti-shop.com>

通信販売専用TEL. 0120-723-317

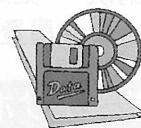


~やまぐちの元気は大地から~
安全・安心な食をお届けします

山口農協直販株式会社

TEL:083-988-0625 FAX:083-988-0676

お宅に埋もれている
原稿はございませんか?
チラシ・パンフレット等お気軽に
ご相談下さい。



様々な印刷物作成の
お手伝いを致します。

社会福祉法人 山口県コロニー協会経営
コロニー印刷

本部・工場 防府市大字台道長沢522
TEL(0835)33-0100 FAX(0835)32-2514
県庁連絡室 山口県庁障害者支援課内 TEL(083)924-8986
秋芳連絡所 山口県美祢市秋芳町嘉万 TEL(0837)64-0966